

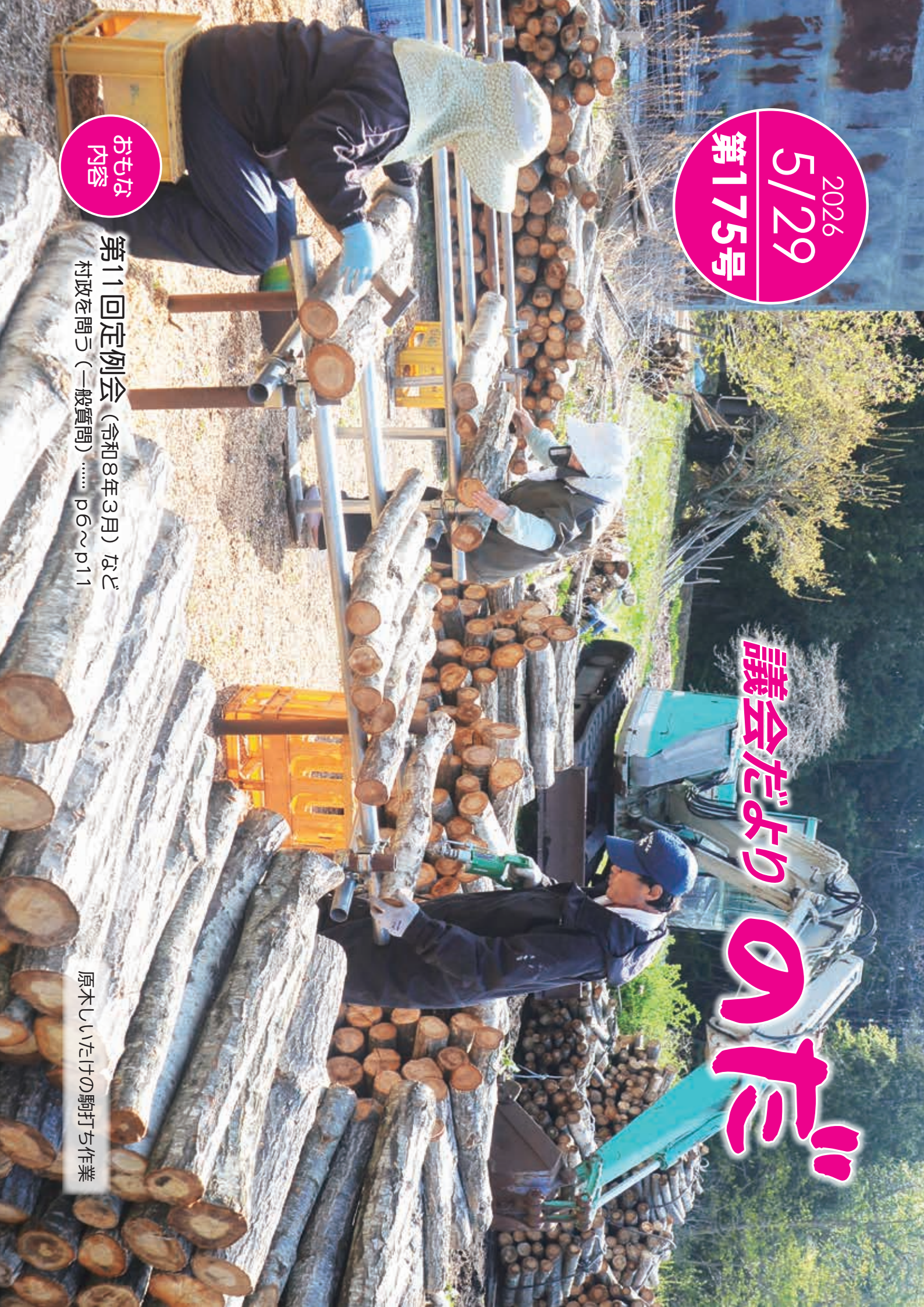
2026
5/29
第175号

議会だより のた

おもな
内容

第11回定例会（令和8年3月）など
村政を問う（一般質問）…… p6～p11

原木しいたけの駒打ち作業



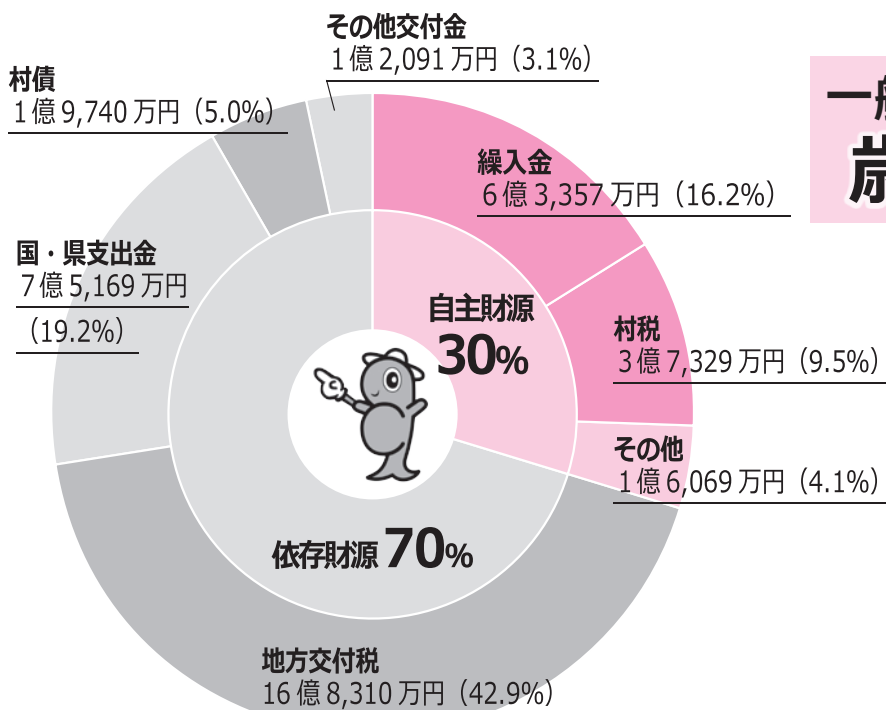
予算を可決

3月定例会

39億2,066万円

第11回野田村議会定例会が令和8年3月4日から13日までの10日間を会期に開催されました。

本定例会では、小野寺勝幸村長が就任後、事実上初編成のうえ提案した一般会計・特別会計、公営企業会計の令和8年度当初予算のほか、令和7年度の補正予算、条例改正などを審議し、すべての案件を原案どおり可決しました。



一般会計
歳入

用語解説

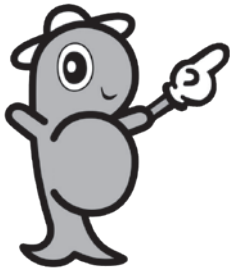
- 自主財源…村民税や村の施設の利用率など、村が自主的に収入するお金
- 依存財源…国や県からもらう国・県支出金や交付金、村債など
- 地方交付税…全国どこに住んでいても、一定水準のサービスを受けられるよう国から配分されるお金
- 村債…村の借入金をいい、収入の一種であるが、将来償還しなければならないお金のこと

※各数値は四捨五入しているため、合計と合わない場合があります。

ソフト事業

- 学校給食費の無償化 **1,811万円**
野田小・中学校の保護者の負担軽減を図るため、学校給食費を無償化
- 野田村復興基盤統合GISシステム用空中写真撮影等委託 **836万円**
復興基盤統合GIS（地理情報システム）航空写真を更新
- 基幹水利施設ストックマネジメント事業機能保全 **750万円**
根井・和野平畑地かんがい施設の機能保全及び長寿命化のため、県営の対策工事

- 野田村防災マップ作成業務委託 **580万円**
県管理河川で、洪水浸水想定区域等が新たに指定されたため「野田村土砂災害・洪水防災マップ」を更新
- 村有林伐採委託 **483万円**
間明地区の除伐と、「道の駅のだ」に隣接する山林の間伐
- 住宅宿泊事業環境整備補助 **177万円**
村内での宿泊・滞在環境の拡充を図るため「住宅宿泊事業（民泊）」のための初期費用等を補助
- 養殖水産物生産流通支援 **123万円**
生産者の安定経営のため、ホタテガイ、カキ等の貝毒検査費用などを生産者へ助成



令和8年度当初

一般会計

NEW

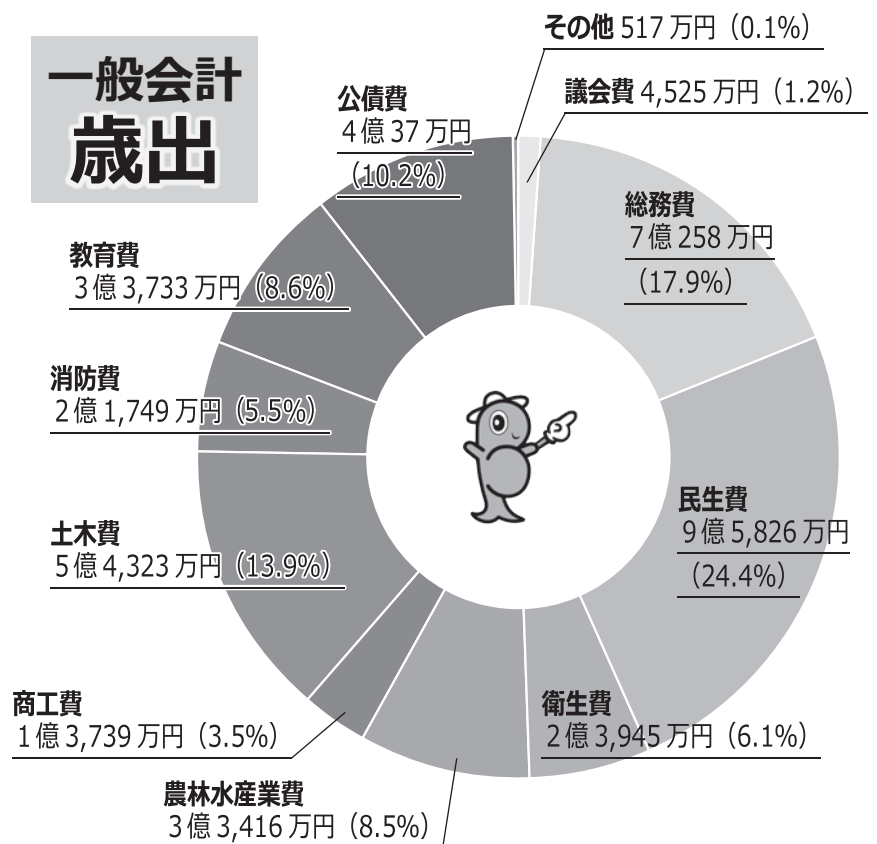
野田村地域づくり交付金 320万円

各自治会活動への新たな支援がはじまります。
(くわしくは、広報のだ3月号で紹介しています)

特別会計	
国民健康保険事業	4億9,725万円
後期高齢者療養	6,459万円
国民宿舎事業	2,301万円

公営企業会計 (収益的支出)	
簡易水道事業	1億3,128万円
下水道事業	2億8,675万円

一般会計 歳出



予算特別委員会

令和8年度当初予算6件は、予算特別委員会(中川大和委員長)を設置、3月9・10日に審査し、いずれも原案どおり「可決すべきもの」と決定しました。



新規事業

○ハード事業

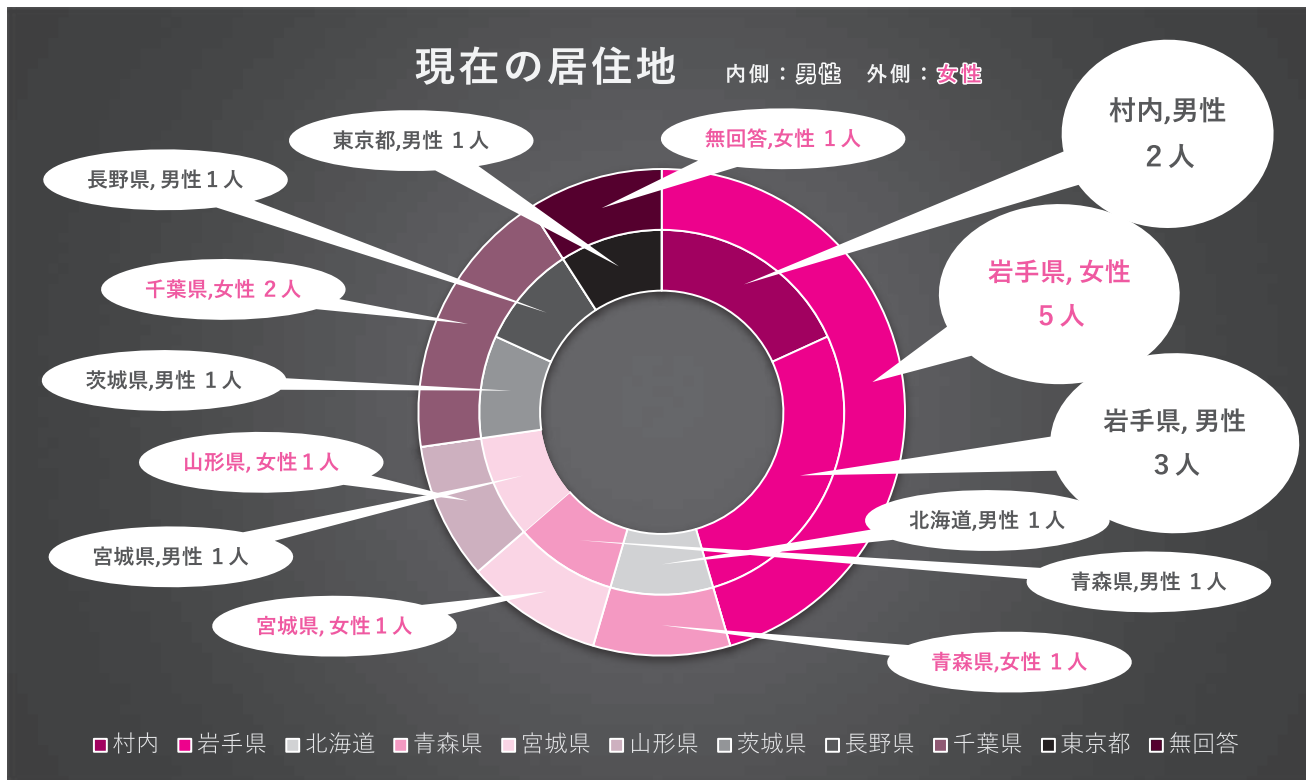
- 道の駅のだ環境整備 2,200万円
「道の駅のだ」にぎわい創出のため、施設と県道間の環境整備工事
- 旧玉川児童館解体 1,697万円
放課後児童クラブの統合等により終了する旧玉川児童館の解体
- 野田村消防団本部指令車更新 1,370万円
消防活動の安全性と機動力の向上を図るため、老朽化が進む消防団本部の指令車の更新
- 中学校トイレ改修 243万円
野田中学校トイレの洋式化に向けた設計の業務委託

二十歳のつどい 議会アンケート

1月11日に開催された”二十歳のつどい”にて参加者の皆さんに議会のアンケートを実施しました。

アンケートに寄せられた村への要望や期待することをお知らせいたします。

二十歳のつどい出席者 27人中 回答者 22人 (回答率 81.5%)
 ※内訳 男性11人/女性11人

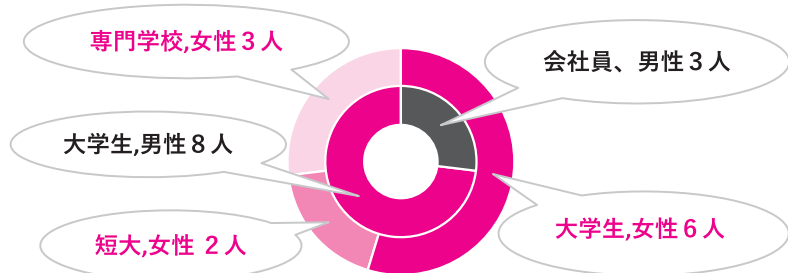


😊 進学をきっかけに村外で生活している方が多く、将来の暮らしを考える声が集まりました

現在の職業は？

内側：男性 外側：女性

■ 会社員 ■ 大学生 ■ 短大 ■ 専門学校



村への要望・あれば便利なものは？

- ・ホール ・除雪機 ・マクドナルド
- ・ミスタードーナツ ・セブンイレブン
- ・カフェ付きの勉強できる場所

😊 利便性を求める声が多く寄せられました



今後、野田村に住みたいか？

■ 住んでいる ■ 住みたい・将来住みたい ■ 無回答

無回答,
男性 5 人
女性 3 人

住んでいる,
男性 2 人

住みたい・将来住みたい,
女性 8 人

住みたい・将来住みたい,
男性 4 人

※住みたくない理由：

- ・ なにもない
- ・ 仕事と福祉制度
- ・ 仕事の都合
- ・ 就職先が村外の可能性が高い、県外を希望している

😊 半数以上が「住みたい・将来住みたい」と回答しており、特に、女性から前向きな声が多く寄せられました



村へ期待することは？

- ・ USJ (ユニバーサルスタジオジャパン)
- ・ 子供が参加できるイベントの開催
- ・ 村民が村をずっと好きでいられるように
- ・ ずっと平和で帰ってきやすい場所であってほしい
- ・ 娯楽施設
- ・ 元気
- ・ 給付金
- ・ 遊べるところ

😊 住みやすさ、娯楽を求める声が多く寄せられました

議会の役割って知ってる？

- ・ 少し知っている： 7 人
- ・ あまりわからない： 14 人

😊 議会についてわかりやすく伝えていくことの大切さがうかがえます

・ 今回のアンケートから村外で暮らしていても、将来は村に住みたい、関わり続けたいと考えている二十歳の方が多いことがわかりました。若い世代の声を大切にしながら、「住みたい」「帰ってきたい」と思える村づくりにつなげていくことが期待されます。

村政を問う

議員 **5名** が登壇

- 一般質問は、村の行財政全般に関し、原則定例会で村の将来への方針や目標、地域や住民生活がよりいっそう豊かになるための課題などを質問できます。
- 質問時間は、1人60分まで、1つに3回まで質問できます。

質問議員（質問順）	内 容	ページ
おの 小野寺 みつ 光 お 男	1 小中学校の通学路等について 2 シルバー人材センター設置について 3 委託事業について 4 自主防災組織について	7
たん 丹 の 野 かず 和 こ 子	1 補聴器購入補助事業について 2 「チームオレンジ」の役割と今後の活動について 3 「旧道の駅のだ」の貸付公募状況について 4 野田村共通商品券の使い勝手がよくなるように 【村長施政方針演述について】 【教育行政方針演述について】	8
なか 中 がわ 川 のぼる 昇	1 被災者見守り・相談支援について 2 指定緊急避難場所について 3 ふるさと納税について 4 森林環境譲与税の活用について	9
まい 米 た 田 とくいちろう 徳一郎	1 水道水源の現状と課題について 2 まちなか賑わい再生の取り組みは 3 村道等の新設・補修について 4 「旧道の駅のだばあぷる」等の利用計画について	10
やま 山 だ 田 よう 陽 こ 子	1 小中学校の給食費無償化に伴う保育施設への対応について 2 クマ等の鳥獣対策について 3 ジェンダー・ギャップの解消について 4 パートナーシップ制度導入について 【村長施政方針演述について】 【教育行政方針演述について】	11



小野寺 光男 議員

小中学校の通学路整備

安全対策すべき

村長 財政ふまえ工法を検討



整備が必要な村道「明内中平線」

問

村道「明内中平線」は、三陸沿岸道路

へのアクセスとして利用され交通量が多くなっている。小学校の移転に伴い通学路になったが、幅員がせまく歩道もない状況。児童生徒の安全確保のため、早急な対応が必要だが、どう考えるか。

村長

利用状況が変化している。大規模な改良ができれば最善であるが、村の財政状況をふまえ、効果が上がる工法等を検討する。



路面標示が予定される村道「城内二又線」

通学路を調査すべき

問

小学校移転により通学路が大きく変化した。児童生徒の安全確保のため、村道を調査したか。

村長

調査はしていないが、新年度、村道城内二又線の一部に歩行空間を確保するため路面に標示する予定。

スクールバスでの送迎

問

ここ最近、小中学生が巻き込まれる事件・事故やクマ出没情報などが報道される。本村でも、少子化の影響により小さな児童が一人で通学する姿を見かけ、とても心配である。村の宝である子ども達の安全安心を守るため、スクールバスの有効利用をさらに進めるべき。どう考えるか。

教育長

スクールバスは、「通学バス運行管理基準」の中で、利用できる小中学生61名を2台のバスで送迎している。今後も交通安全や不審者対応等の指導を徹底し、状況に応じて集団登下校や通学路での見守り、スクールバスの活用を含めた対応など、小中学生の安全確保に努めたい。

シルバー人材センター設置を

問

高齢化社会が進み、高齢者は今後増えると予想される。このようなか、村の軽作業等を委託できるシルバー人材センターを設置するべき。生きがい対策や健康福祉向上につながると思うが、どう考えるか。

村長

高齢者の生きがいづくりや安心して暮らし続ける村づくりのため、労働力を提供したい人と提供を受けた人をつなぐ仕組みは必要である。実施市町村の先事例を参考に検討する。

【その他の内容】

- 委託事業について
- 自主防災組織について

条件緩和と拡充すべき



丹野 和子 議員

村長 現行の補助要件で続ける

問 高齢者の健康のためにも健康診断に聴力検査を取り入れ、難聴を早期発見すべきだがどう考えるか。

村長 村の特定健康診査と後期高齢者健康診査は、法律をもとに生活習慣病の発症予防、重症化予防を目的としている。「高齢者補聴器購入助成事業」は、医師の見書により助成しており、「日常生活での会話がむずかしい」と感じたときはまず、専門医に相談してほしい。健診項目に聴力検査を追加する予定はない。

問 補聴器購入助成の内容「両耳40デシベル※以上」の要件は緩和すべき。どう考えるか。

村長 補聴器購入助成の要件としている「中等度難聴」は両耳の聴力レベル40デシベル以上で、会話が困難など日

常生活に支障をきたすもので、ほとんどの市町村が同じ要件であるため、現在の補助要件で続けたい。

※「デシベル（dB）の目安」
40 dB以下がしずか（図書館など）、50〜60 dBがふつう（会話、事務所）、70 dB以上がさわがしいと感じるレベル

問 補聴器はいろいろな種類と価格があり、一般的に高額である。補助額を引き上げすべき。どう考えるか。

村長 ほとんどの市町村が障害者総合支援法にもとづく標準価格を採用しているため、標準価格の9割を補助する現在の補助要件を続ける。

問 旧「道の駅」の貸付公募村では旧「道の駅」の貸付を公募しているが申し込み状況はど

うか。また、にぎわいが戻り、住民の利便性が図られるような施設のあり方をどう考えるか。

村長 3月時点で現場説明への参加2件、問い合わせ6件、申し込みが4件である。旧産直施設の利活用は、地域住民をはじめ公共交通機関利用者が便利に活用できるように、住民や事業所等の意向・要望を尊重し、多くの提案や画期的なアイデアを導入できるように柔軟に対応したい。



利活用が待たれる 旧「道の駅」

【教育行政方針演述】
体育・社会教育施設の整備および活用促進

問 令和8年度に各施設の整備計画の検討とあるが、今後のスポーツ振興につなげるためにも計画の策定・実施すべき。どう考えるか。

教育長 教育委員会では多くの施設を維持管理している。今後の適切な維持管理を見すえた個別の管理計画を策定し、村の財政負担も考慮したうえで、順次整備していく。令和8年度は野田中学校のトイレの環境改善を図るため、洋式化に向けた設計業務を委託する。

【その他内容】
○「チームオレンジ」の役割と今後の活動について
○野田村共通商品券の使い勝手が良くなるように
○「村長施政方針演述」の野田村地域づくり交付金について



中川 昇 議員

被災者への

見守り・相談支援を

村長 孤立防止と心のケアを充実する

問

東日本大震災から15年が経過し、これまでの被災者見守り・相談支援は、中長期的な対応の必要性和、市町村に一定のノウハウが蓄積されているとして市町村主体の取り組みに移るとのことである。いまだ被災された方々の心の傷はいやされていない。被災者の見守り・心のケアに対する支援は今後どう進めるか。

村長

村は、東日本大震災の定期的な訪問活動、岩手県こころのケアセンターなどの関係機関と連携した心のケア、生活状況や心身の不安を把握するためのアンケート調査など、きめ細やかな見守りと相談支援に努めてきた。今後も蓄積してきた支援のノウハウを生かし、地域のコミュニティ形成支援とあわせ孤立防止と心のケアの充実を図る。

指定緊急避難場所の環境改善を

問

国は津波や大雨な身を寄せる「指定緊急避難場所」に関する自治体向け指針を改定した。冬の寒さや夏の熱中症対策に防寒具、飲料水等の備蓄の機能充実が示されている。避難場所の環境改善にどう対応するか。



「指定緊急避難場所」です！

村長

村は、指定避難場所への避難を呼びかけており、指定緊急避難場所への避難者にも順次指定避難所への移動をお願いしている。指定避難所には、間仕切りや寝袋、備蓄マット、ストーブな

どを備え、長期避難が可能な環境を整備している。しかし緊急避難場所避難し移動が困難な方に対し、備蓄が可能な施設であれば、地区と協議しながら、村からの物資の備蓄等に対応していきたい。

「ふるさと納税」の強化を

問

人口減少や税収減少が見込まれる中、本村も持続可能な財政運営を進めるため自主財源の確保は重要である。その中で「ふるさと納税」は単なる歳入確保にとどまらず、産業の振興や将来の税収増につながる戦略的な活用が求められる。本村の寄附額と件数の推移をどう分析しているか。また、野田村らしさを前面に出した返礼品をどう開発していくか。

村長

令和2年度から寄附額、件数ともに増加し、令和5年度には2000万円を超えたものの、令和6年度からは減少傾向にあり、海産物

「森林環境譲与税」の活用を

問

森林環境譲与税は、森林整備・普及啓発など幅広い目的に活用できる。森林資源の活用や木材の普及啓発「木育」に取り組むことは、地域産木材への理解促進につながるかと考えるが、婚姻届出時に木製食器を贈呈してはどうか。

村長

村は、森林環境譲与税を基金に積み立て、森林施策の各種事業に活用している。国の推奨活用事例に地域材を活用した木工品の製作・贈呈も明記されており、木材利用と木育の観点からも有効な使い道である。ご提案の内容も含め効果的に活用する方法を幅広く検討する。

【指定避難所】災害発生後、一定期間避難生活をする滞在型の避難所
【指定緊急避難場所】切迫した災害の危険から命を守るために一時的に避難する高台や公園などを指す避難所

現状と課題、今後の取り組みは



米田 徳一郎 議員

村長 安定供給に努める

問 当村の簡易水道の現状と課題は。

村長 現状はまかなえていないが、近年の異常気象による高温少雨により、各地で渇水などの心配があり予断を許さないと認識している。

問 泉沢浄水場における水道水の安定供給と農業用水の確保に課題はないか。

村長 泉沢浄水場は農業用水の導水施設から分水しているが、水源を含めた日常管理、維持修繕、災害対応などは水道管理側で実施しており、水道水と併せて農業用水の確保にも努めている。今後も水利組合と調整しながら安定供給に努めていく。



泉沢浄水場全景

問 避難施設及び公共槽や給水塔の設置状況は。

村長 現状は非常用としては設置していないが、飲料水1・5リットルを3000本と可搬式の簡易水槽（1立方メートル）2基を備蓄している。災害時にはこれまで同様、可能な限り早期復旧に努める。

問 まちなか賑わい再生なしに語れない村の復興完遂は

問 まちなか賑わい再生への取り組みとして「プチよ市」、年1回開催の「ベアレン×野田村ビアフェスト」は盛況のようだが、さらなる仕掛けも必要と考える。新村長として構想はあるか。

村長 これまで「まちなか」を舞台としたさまざまな企画や催しが生まれている。行政主導のものだけでなく、民間活力からも多数生まれている。また、村全体の見わたすと、都市公園やパークゴルフ場、道の駅等の施設のほか、み

ちのく潮風トレイル、塩の道イベント、震災学習等の体験の場として、村全体をフィールドとした取り組みも多い。多様化・多層化する需要や社会の変化に適切にとらえ、震災後に生まれたさまざまなつながりも生かしながら、村の魅力を発信するのはもちろん、村外からも愛着を持ち関わり続けてもらえるよう努め、それらが相乗効果を生み出し「まちなか」の賑わい創出につながるよう取り組みたい。

村道等新設・補修

問 村道「明内中平線」の拡幅や旧県道から新県道までの道路新設の考えはあるか。また、路面の荒廃等で通行に支障をきたす箇所はどう対応するか。

村長 村道明内中平線は、三陸沿岸道路の開通、また小学校移転により各路線の利用状況が変化している。旧「県道」から「新」県道も同様であり、全体を見ながら必要性やルート選定を検討する。村道補修は路面性状調

査結果により舗装を修繕しており、令和8年度以降も計画的に実施したい。



雨のたびに冠水が見受けられる村道「本町泉沢線」

旧「道の駅」の利用計画を

問 旧「道の駅」は閉鎖後10か月が経つ。現状と課題、利用計画は。

村長 旧「道の駅」は2月2日から貸し付けの公募を始めた。現時点で現場説明への参加が2件、問い合わせ6件、申し込みは4件である。旧産直施設の活用は、住民や事業所などの意向・要望を尊重し、多くの提案や画期的なアイデアを導入し、柔軟に対応できるように処分制限期間満了後に公募したい。



山田 陽子 議員

保育施設も

給食費無償化を

村長 「主食の提供を希望する」が約4割

問

4月から当村は、小中学校を対象に給食費が無償化されるが、保育施設でも全面的な無償化を望む声がある。村長の考えは。

村長

昨年2月に村で実施したニーズ調査では、「主食の提供を希望する」と回答した人数は73人中30人の約4割であった。主食提供するかどうかは、それぞれメリットがあり、かつ運営者側の事情もあるため、保護者ともよく話し合うことが大切と考える。

クマ等の鳥獣対策は

問

クマ等鳥獣対策の現状は。また、今後どう進めていくのか。

村長

目撃報告は1月末時点で46件、有害捕獲数12頭で、依然予断を許さない状況が続いている。「ガバメントハンター制度※」は行政の硬直化を防ぎ、隊員のキャリア継続を支える非常に挑戦的で意義のある視点である。村にふさわしい事業展開を図っていく。



地域おこし協力隊活動報告会のようす

再質問

鳥獣被害対策に従事している地域おこし協力隊の任期等は。

村長

現在、鳥獣被害対策に取り組んでいる隊員は本年6月末までの任期である。3年間で培った技術や知識等、村で生かしてほしいし、村の希望でもあるが、今後方向性を協議していく。

ジェンダー・ギャップの解消取り組みは

問

国が1999年6月「男女共同参画社会基本法」を制定し、27年目になる。当村も「第2次野田村男女共同参画基本計画」を策定し、2027年度までの取り組みを示している。日本の男女格差がひと目でわかる、ジェンダー・ギャップ指数は、昨年148か国中118位と依然と低い状況。村のジェンダー・ギャップ解消に若者や女性が住みやすい地域にするため現実的な取り組みの具体策は。

村長

社会の中でつくるべき、女はこうあるべき」という固定観念や無意識の偏見、それによって生じる機会・権利・待遇の差は解消すべきと認識している。村も、少子高齢化により地域の産業や地域活動の担い手不足は明白で、若年層の進学・就職の転出が多いことが要因の一つである。短期間には解決が図られる課題ではないが、ジェンダー・ギャップ解消の意識を持ち、関係団体と協議しながら各事業を実施していく。

再質問

この地域の特性やジェンダー・ギャップを可視化し、村が主導し関係団体と一緒に進めていることが必要だと考えている。

村長

より良い方法を検討しながら進めていく。

問

県内でのパートナーシップ制度導入状況は8割を超える。当村も制度導入をすべき。

村長

令和8年度中の制度導入に向け取り組む。

主権者教育の展開を

問

「議員のなり手不足」が全国的に問題となっている中で、地域学習として議会の傍聴や子ども議会などを実施する考えは。

教育

「地域学習及び復学校教育の推進」を柱としている。これまでに進めてきた「過去」「現在」の学習を活かし、「未来」を創造する学習に取り組んでいく。そのひとつとして、中学生が村の将来像や防災を含めたまちづくりなど、子ども視点から未来に向けた提言等を村へ行う「未来創造会議」いわゆる「子ども会議」を構想している。

【その他内容】
○「村長施政方針演述」の観光振興の展開について

※「ガバメントハンター制度」県が募集し設置したハンターで、市町村のツキノワグマの捕獲等に関する助言や緊急銃猟等の支援

議案一覧

第 11 回定例会 3月4～13日

番 号	議 案 名	議決結果
承認第 1 号	令和 7 年度野田村一般会計補正予算（第 8 号）の専決処分に関し承認を求めることについて	承認（賛成全員）
議案第 1 号 ～第 4 号	令和 7 年度野田村・各会計補正予算	可決 （賛成全員）
議案第 5 号	野田村課設置条例の一部を改正する条例	
議案第 6 号	がんばるのだ応援寄附条例の一部を改正する条例	
議案第 7 号	特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	
議案第 8 号	野田村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	
議案第 9 号	野田村福祉医療資金貸付基金条例の一部を改正する条例	
議案第 10 号	野田村国民健康保険高額療養資金貸付基金条例の一部を改正する条例	
議案第 11 号	野田村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決（賛成多数）
議案第 12 号	野田村火入れに関する条例の一部を改正する条例	可決 （賛成全員）
議案第 13 号	児童館設置条例を廃止する条例	
議案第 14 号	観光特産品展示館条例を廃止する条例	
議案第 15 号	野田村総合計画の基本構想及び基本計画を策定することに関し議決を求めることについて	
議案第 16 号	野田村過疎地域持続的発展計画を策定することに関し議決を求めることについて	同意 （賛成全員）
議案第 17 号	教育長の任命に関し同意を求めることについて	
議案第 18 号	教育委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて	
議案第 19 号 ～第 20 号	野田村固定資産評価審査委員会の委員の選任に関し同意を求めることについて	可決（賛成全員）
議案第 21 号 ～第 26 号	令和 8 年度野田村・各会計予算	

※議長は採決に加わらない

人事

教育長 再任

令和 8 年 3 月 31 日で任期満了となる教育長の菊地理氏（新町・64）を再任することに同意しました。
任期は令和 8 年 4 月 1 日から 3 年間です。

教育委員 新任

教育委員会の委員に、三上達也氏（門前小路・51）を任命することに同意しました。

任期は令和 8 年 4 月 1 日から令和 10 年 9 月 30 日です。（前任者の残任期間）

固定資産評価審査委員

再任

令和 8 年 3 月 31 日で任期満了となる固定資産評価審査委員の橋場敏光氏（下安家・71）、茂石和夫氏（下明内・69）を再任することに同意しました。
任期は令和 8 年 4 月 1 日から 3 年間です。

**議会傍聴
できます！**

村議会定例会は、3月（予算）・6月・9月（決算）・12月に開かれ、村の将来などの議論を直接聞くことができます。傍聴は、受付簿に氏名・年齢などを記入するだけです。みなさまの傍聴をお待ちしています。

**次の定例会は
6月です！**

おもな議会の動き

● 1月 ●

- 4日 野田村消防出初式
- 5日 野田村新年交賀会
- 7日 第10回野田村議会臨時会
- 11日 野田村二十歳のつどい
- 14日 岩手県建設業協会久慈支部新年交賀会（久慈市）
- 15日 小正月行事
- 15日 村政調査会
- 27日 岩手県町村議会議長会理事会（盛岡市）

● 2月 ●

- 4～5日 北部地区町村議会議長会正副議長・事務局長合同会議及び
県北地区選出県議会議員との懇談会（盛岡市）
- 8日 野田村生涯学習大会
- 9日 交流人口拡大に向けた三陸沿岸地域連携シンポジウム（陸前高田市）
- 15日 久慈市市制施行20周年記念式典（久慈市）
- 16日 村政調査会
- 16日 野田・普代岩友会懇親会（普代村）
- 17日 岩手県町村議会議長会第77回定期総会（盛岡市）
- 27日 議会運営委員会・議員全員協議会

● 3月 ●

- 1日 岩手県立久慈翔北高等学校令和7年度卒業証書授与式（久慈市）
- 4～13日 第11回野田村議会定例会
- 11日 東日本大震災追悼行事
- 12日 野田中学校卒業式
- 19日 野田小学校卒業証書授与式



村政調査会のようす



野田小学校 卒業証書授与式



東日本大震災追悼行事



たまかわのりあき
玉川勝愛さん(玉川)

おいしい『しいたけ』 作っています

「原木しいたけ植菌体験」が4月28日、玉川地区活性化センターで開かれ、野田小学校3年生29人が参加し、地域産業である「林業」の学びを深めました。野田村しいたけ推進協議会会長を務める玉川さん(49)も参加した翌日、しいたけの駒打ち作業の合間にお話を伺いました。

栽培は約9年前に父親から受け継ぎ、現在は3,000本ほどの「ほだ木」にドリルで穴を開け、種駒(菌)を植え付けています。香り良く肉厚な食感で味の良い「原木しいたけ」に乾燥の手間をかけ、旨味と栄養が凝縮した保存食の「干しいたけ」として、野田村森林組合に出荷しています。

栽培での困りごとは、「ニホンジカによる食害」や「ナラ枯れによる原木の不足・高騰」と語りました。

今後の希望

小学生や若い人に、しいたけの栽培に興味をもってほしい

行政への要望

害獣駆除やほだ木の確保への援助

議会だよりクイズ

正解者から抽選で3名に「野田村共通商品券」をプレゼント!

問題

3月定例会で一般質問をした議員の数は。

- ① 4 人
- ② 5 人
- ③ 7 人



◀こちらからも応募できます!
村ホームページ「議会だよりのだ」につながります。スマートフォン等のカメラ機能で読み取ってください。

【前号の答え】 ③アワビ
【当選者】 齊藤花道さん、中村大惺さん

【応募方法】 村ホームページ「議会だよりのだ」応募フォームやはがきに答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、連絡先を記入してご応募ください。議会だよりに対するご意見もお待ちしています。

【応募先】 〒028-8201 野田村大字野田 20-14 野田村議会事務局「議会だよりクイズ」係まで

【締め切り】 7月10日消印有効

【当選発表】 次号発表

あとがき

新緑の季節を迎え、新年度が始まり、さまざまな思いをもってスタートされたことと思います。さて昨年は、道の駅の「ぱあぷる」が新たに開業し、多くの方々が訪れ賑わっています。

また、野田小学校は新校舎での学びが始まり、児童の元気なようすを見かけます。児童・生徒の登下校時の安全を皆さんで守りましょう。

議会では今後も皆さんの声をお聞きし、諸課題に取り組んでまいります。「議会だより」へのご意見、ご感想もお寄せいただければ幸いです。

小野寺 光男

発行責任者

議長 米田 忠一

広報広聴常任委員会 広報分科会

- 委員長 丹野 和子
- 副委員長 米田 徳一郎
- 委員 小野寺 光男
- 委員 小野寺 豊